

一、 浜 助
刻 に 力
の

与頭 (署名略)

町惣代百姓 (署名略)

吹八年に浜脇で大火事があり薬師堂が類焼したこと、
八日に、大般若教を転読してお祭りしたこと。薬師
の管理運営に関する取り決めなどが書かれている。こ
の文中に「古来より当両村にへ湯薬師これあり」と
いてある湯薬師は、写真の薬師如来座像のことである

中・薬師如来坐像 平安時代

伊土宗朱湯山長泉寺の本尊である。朱湯山の山号は風
記の「赤湯」に因んだものであろう。略縁起によれば
朱雀天皇の寛徳元年(一〇四四)重病であった親仁親
(後の後冷泉天皇)が夢に薬師如来が現れて「我は
門莊の薬師である仏である。この地に靈泉があるので
りて薬師に祈れば、たちどころに癒ゆる。」というの
直ちに下向して入湯したら直に全快した。

その仏恩に報いるため、同莊柴石の地に一字を建立し
薬師仏を安置し、寛徳院朱湯山長泉寺と名づけた。

あ 二 朝 家 タ の



